

問題 その4 行く手をさえぎるでっぱり。
これなんだ？
次の二つの中からえらんでね！

1. こっちとむこうから工事していたら、おたがいにゆずりあって、さかい目が残ってしまった
これは手抜きだ？
2. 堀底の障害物（しょうがいぶつ）
これは邪魔だ！

ヒント 刀ややりを持って、よろいをまとっていたら・・・。



1. こっちとむこうから工事していたら、おたがいにゆずりあって、さかい目が残ってしまった

戦国時代の岩槻城の工事のようすを物語る古文書（こもんじょ）を読むと、工事する場所（工区・こうく）を村々に割り当てて工事をさせ、完成後もその部分のメンテナンスを任せる形をとっていたことがわかるんだ。そうすると、村ごとに分担した範囲の境目はどうしてもうまくつながらないことがあったりして・・・って、そうじゃないよオ！

フッフフー！！

ざんねん！工事の失敗や手抜きで残ってしまったところではありません！

正解は、わざわざ掘り残して作った、堀底の障害物だよ。くわしくは、2. を見てね！

※岩槻区・岩槻城大構跡（いわつきじょうおおがまえあと）の堀障子（ほりしょうじ）。

戦国時代。

※工区を村々に割り当てて城の工事を行う場合があったのは、本当のことです。そして、実際に、工区の境目の仕上がり具合があまりよくなって、くずれやすい、といったことが問題になったりもしていました。